

「和経協短観」(2021年12月)調査結果

当協会では会員企業の景況感等をよりの確に把握するため、今年度から四半期毎に景気動向調査「和経協短観」を実施しております。

12月に実施した第4回の調査には対象事業所の半数を超える209社から回答をいただきました。ご協力いただきました会員企業に厚くお礼申し上げます。

調査結果は以下の通りです。

1. 調査要領

(1) 調査対象: 令和3年11月時点の団体を除く会員397社

(2) 調査期間: 令和3年12月1日~14日

(3) 回答状況: 209社(回答率52.6%)

	100人未満	100人以上	全規模
製造業	40	44	84
非製造業	89	36	125
全規模	129	80	209

2. 調査結果概要

- ・ 会員企業の業況判断指数(DI)は、コロナ禍から復調の兆しがあり製造業、非製造業とも改善し2桁のプラスを維持した。非製造業は緊急事態宣言の解除を受けて、宿泊・飲食、百貨店・スーパーの改善が目立った。
12月の日銀短観では、中小企業の景況感は改善したものの、製造業、非製造業とも依然としてDIがマイナスを脱していないことを考えると、会員企業の健闘ぶりが目立つ。
先行きについては、製造業、非製造業とも悪化を見込んでいる。為替相場の動き、原油などの原材料価格の動向、さらに新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大を懸念する声が多かった。
- ・ 製商品の在庫は、非製造業での不足感が目立つ。特に自動車販売でその傾向が強い。
- ・ 雇用人員の不足感は、製造業、非製造業ともに加速している。製造業では食品で、非製造業では宿泊・飲食、情報通信、建設での不足感が際立っている。
先行きについて、製造業の金属製品、化学、繊維でさらに不足感が強まるとみている。
- ・ 資金繰りは、調査開始以来初めて判断が悪化した。特に100人未満でその傾向が強い。
- ・ 製商品の販売価格については、前回までの上昇の傾向に一服感がみられる。
一方、原材料仕入価格は上昇傾向が続いている。繊維、木材、化学系の素材の上昇が目立った。
- ・ 販売価格DIから仕入価格DIを差し引いた値をみると、依然として価格転嫁が進んでいない。
先行きについて、製造業での価格転嫁が進みだすとの見方が強まっているが、非製造業では依然として値上げに慎重な姿勢がみられる。

【業況判断】

業況判断を「良い」と答えた企業の割合から「悪い」を引いた指数 (DI) は、製造業が前回 (9 月) から 3 ポイント改善の 33、非製造業は同 1 ポイント改善の 12 だった。

製造業では、食品、木材・木製品、石油製品、プラスチック製品、電気・電子部品が改善した。

非製造業では、百貨店・スーパー、宿泊・飲食が改善した。

3 か月後の先行きの DI は製造業が 9 ポイント悪化の 24、非製造業が 7 ポイント悪化の 5 だった。

製造業では繊維、木材・木製品で、非製造業では建設での悪化が目立った。

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

業況判断	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	19	11	20	1	13	-7
製造業	30	18	33	3	24	-9
非製造業	11	5	12	1	5	-7
100人未満	19	9	19	0	7	-12
100人以上	20	14	23	3	22	-1

「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。
「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

《参考》日銀短観(12月)中小企業

業況判断	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	-8	-10	-3	5	-4	-1
製造業	-3	-4	-1	2	-1	0
非製造業	-10	-13	-4	6	-6	-2

【製商品在庫水準】

製商品の在庫状況は自動車販売で「やや少なめ～不足」と答えた企業の割合は、前回から 12 ポイント上昇し 75%に上った。

「過大」から「不足」を差し引いた DI は非製造業で前回から 10 ポイント下落し-2 だった。

(「過大」－「不足」・%ポイント)

製商品 在庫水準	2021年 9月調査	2021年12月調査	
			変化幅
全産業	11	5	-6
製造業	14	13	-1
非製造業	8	-2	-10

【生産・営業用設備】

生産・営業用設備の過不足を聞いたところ、製造業、非製造業とも「不足」が「過大」を上回った。

3 か月後の先行きでは、製造業、非製造業ともその傾向が強まるとみている。

(「過大」－「不足」・%ポイント)

生産・ 営業用設備	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	-7	-10	-9	-2	-11	-2
製造業	-5	-10	-13	-8	-16	-3
非製造業	-10	-9	-5	5	-7	-2
100人未満	-10	-11	-12	-2	-12	0
100人以上	-3	-7	-4	-1	-10	-6

【雇用人員】

雇用人員について、製造業では食料品・飲料で 6 割が不足と答えた。

非製造業では情報通信で 8 割以上、建設業で 5 割以上が不足と答えた。

「過剰」から「不足」を差し引いた DI は製造業が前回から 11 ポイント低下の-25、非製造業は 15 ポイント低下の-41 だった。

3 か月後の先行きは、製造業が-43、非製造業も-44 といずれも人手不足感がさらに強まるとみている。

(「過剰」－「不足」・%ポイント)

雇用人員	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	-21	-29	-34	-13	-43	-9
製造業	-14	-24	-25	-11	-43	-18
非製造業	-26	-34	-41	-15	-44	-3
100人未満	-20	-28	-33	-13	-43	-10
100人以上	-21	-32	-36	-15	-44	-8

《参考》日銀短観(12月)中小企業

雇用人員	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	-20	-24	-26	-6	-30	-4
製造業	-13	-15	-17	-4	-21	-4
非製造業	-24	-29	-31	-7	-35	-4

【資金繰り】

資金繰りについて「楽である」から「苦しい」を差し引いたDIは、製造業、非製造業とも前回から5ポイント悪化した。規模別では、100人未満で前回から8ポイント悪化した。

(「楽である」-「苦しい」・ポイント)

資金繰り	2021年	2021年12月調査	
	9月調査		変化幅
全産業	26	21	-5
製造業	33	28	-5
非製造業	21	16	-5
100人未満	25	17	-8
100人以上	29	27	-2

【製商品の販売価格】

「上昇」から「下落」を差し引いたDIは、製造業が前回から5ポイント下落の10、非製造業は同12ポイント下落して4だった。

(「上昇」-「下落」・ポイント)

製造業では機械器具、電気機器・電子部品で下落した。

非製造業では、情報通信で大きく下げたほか、建設など4業種でも下がり、前回より12ポイント下落のプラス4だった。

3か月後の先行きは、製造業で木・木製品を除くすべての業種で上昇を見込み、13ポイント上昇の23、非製造業も自動車販売を除くすべてで上昇を見込み、4ポイント上昇の8だった。

販売価格	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	15	19	6	-9	15	9
製造業	15	20	10	-5	23	13
非製造業	16	18	4	-12	8	4
100人未満	11	16	6	-5	16	10
100人以上	22	25	7	-15	14	7

《参考》日銀短観(12月)中小企業

販売価格	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
製造業	9	14	16	7	22	6
非製造業	1	3	6	5	10	4

【原材料等の仕入価格】

原材料等の仕入価格について、製造業の84%、非製造業の49%が「上昇」と答えた。

「上昇」から「下落」を差し引いたDIは製造業が前回から10ポイント上昇の70、非製造業は同3ポイント上昇の44だった。

製造業では、繊維、木材・木製品、化学で、非製造業では宿泊・飲食で全ての企業が「上昇」と回答した。

3か月後の先行きのDIは製造業が1ポイント低下の69、非製造業は10ポイント上昇の54だった。

(「上昇」-「下落」・ポイント)

仕入価格	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	50	53	55	5	61	6
製造業	60	59	70	10	69	-1
非製造業	41	47	44	3	54	10
100人未満	52	55	56	4	65	9
100人以上	46	48	54	8	56	2

《参考》日銀短観(12月)中小企業

仕入価格	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
製造業	50	51	60	10	61	1
非製造業	29	31	39	10	41	2

販売価格DIから仕入れ価格DIを差し引いた値を見ると、前回よりその差が大きくなっており、製造業、非製造業とも仕入価格の上昇に販売価格の上昇が追いつかず、価格転嫁が進んでいない。

3か月後の先行きを見ても、非製造業でその差がさらに大きくなっており、価格転嫁がすぐには進まないと思われる。

【「販売価格DI」と「仕入れ価格DI」の差】

販売価格 -仕入れ価格	2021年9月調査		2021年12月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
全産業	-35	-34	-49	-14	-46	3
製造業	-45	-39	-60	-15	-46	14
非製造業	-25	-29	-40	-15	-46	-6
100人未満	-41	-39	-50	-9	-49	1
100人以上	-24	-23	-47	-23	-42	5

【グラフ】

